朝霧湖

野村ダム貯水池は、昭和62年の「森と湖に親しむ旬間」を機に愛称を公募し、「朝霧湖」と命名されました。

その「朝霧湖」は、平成17年に一般財団法人水資源環境センターにより、「ダム湖百選」に認定され、野村ダムとともに地域の観光資源のひとつとなりました。

真に豊かで活力ある町づくり・地域振興に、これからも寄与していきます。

■ダムカード配布

国土交通省では、ダムのことをより知っていただこうと、平成19年より「ダムカード」を作成し、ダムを訪問した方に配布（お一人様一枚）しています。

カードの大きさや掲載する情報項目などは、全国で統一したものにしており、おもて面はダムの写真、うら面はダムの形式や貯水池の容量といった基本的な情報から、当該施設のこだわり技術や施設もしくは周辺の情報（ランダム情報）を載せています。

ダムカードの配布日時
（土・日・祝祭日を含む）
9:00～17:00

■野村ダムの見学

野村ダムでは、ダムの見学を行っています。（原則として、土・日・祝祭日を除く平日のみ）

見学コースは、普段見ることのできないダム操作室やダム堤体内部、ダム放流設備となっており、職員が同伴して案内しています。 見学にかかる時間は約１時間程度。

あなたもダムの中に入ってみませんか？

※ダムの見学には事前申し込みが必要です。下記まで、電話かメールでご連絡下さい。

野村ダム管理所 TEL 0894-72-1211
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ skr-nomura20@mlit.go.jp

大雨時の川の氾濫の危険性を
知らせるウェブサイト

川の防災情報

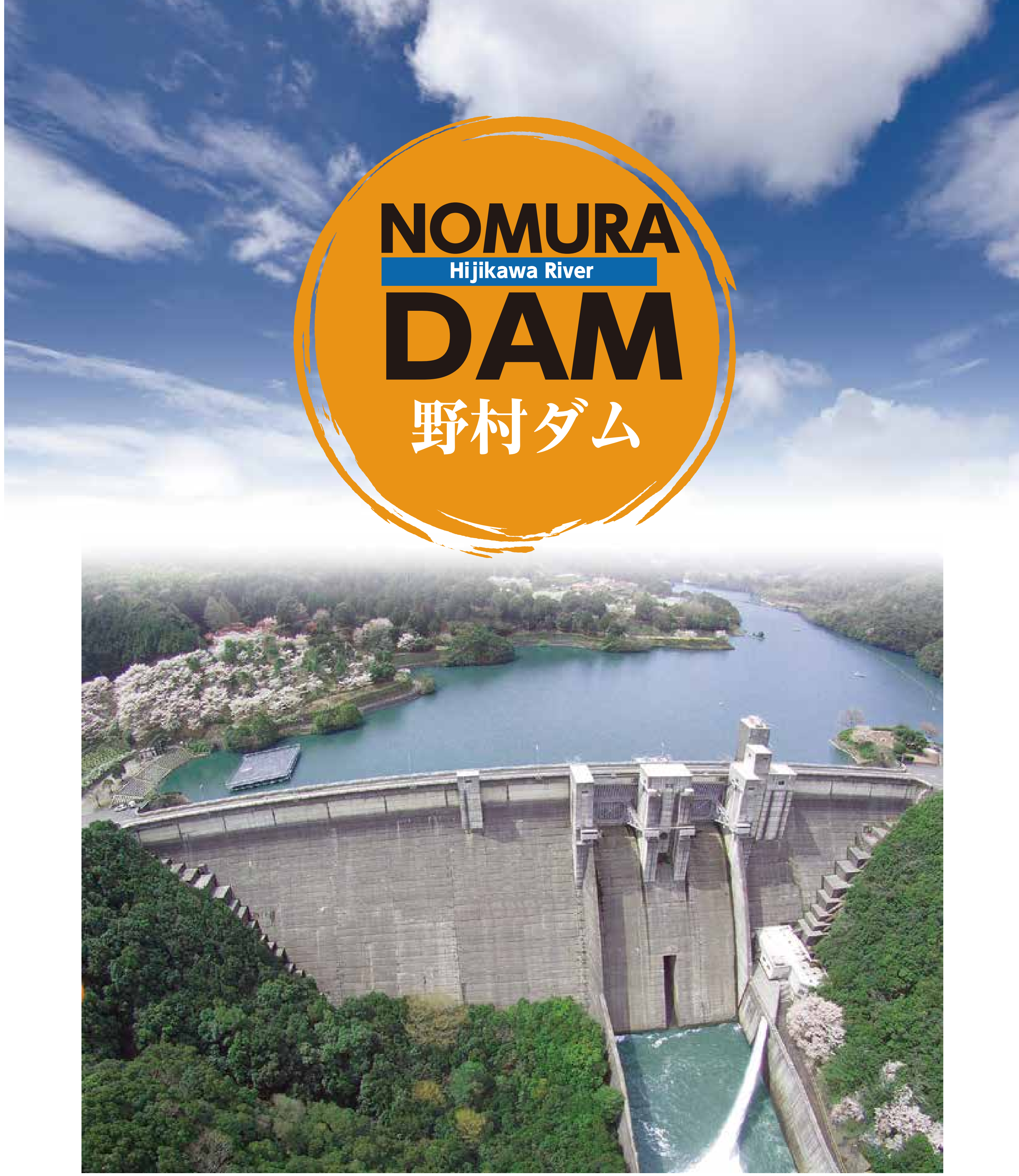
パソコンからhttp://www.river.go.jp/
スマートフォンからhttp://www.river.go.jp/s/

パソコン用　スマートフォン用

「川の防災情報」は、大雨時や川の氾濫のおそれがある場合などに、雨や川の水位の状況などを、インターネットを通じてリアルタイムで、いつでも、どこでも、避難に必要な情報を入手できます。

●パソコンだけでなく、スマートフォン用のサイトが新設されました。

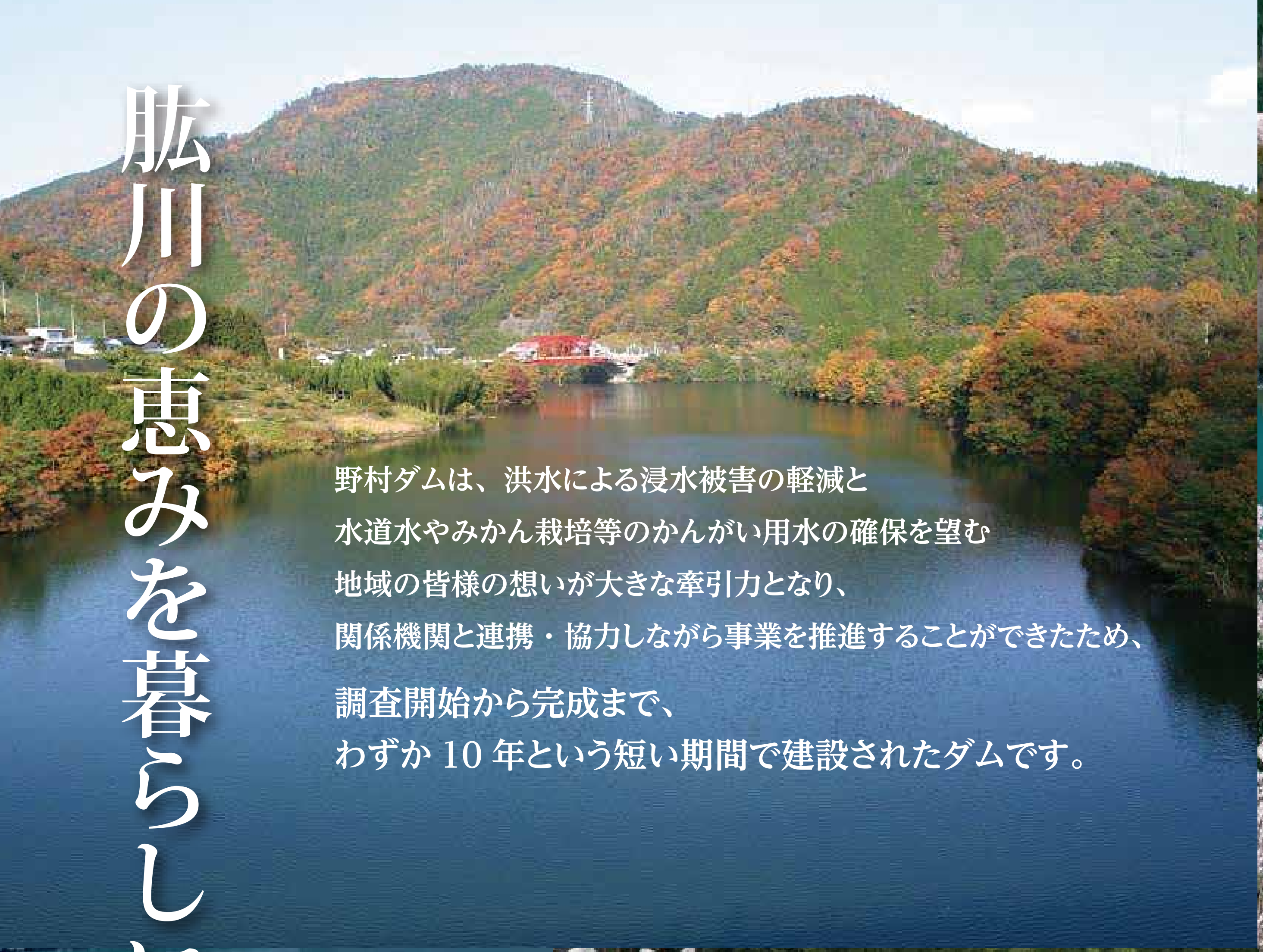
国土交通省 四国地方整備局
肱川ダム統合管理事務所
〒797-1212　愛媛県西予市野村町野村８号153番地１
TEL 0894-72-1211　FAX 0894-72-3895
http://www.skr.mlit.go.jp/hijikawadam/Index.html



NOMURA
Hijikawa River
DAM
野村ダム

国土交通省 四国地方整備局
肱川ダム統合管理事務所

肱川の恵みを暮らしに活かす。



野村ダムは、洪水による浸水被害の軽減と
水道水やみかん栽培等のかんがい用水の確保を望む
地域の皆様の想いが大きな牽引力となり、
関係機関と連携・協力しながら事業を推進することができたため、

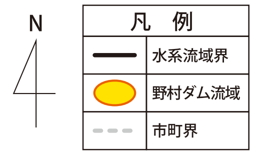
調査開始から完成まで、
わずか 10 年という短い期間で建設されたダムです。

CONTENTS

野村ダム物語　2
野村ダムの概要　4
野村ダムの役割　治水　6
野村ダムの役割　利水　8
野村ダムの設備　10
環境への取組み　12
野村ダム管理所の仕事　14
イベント＆観光案内　16

野村ダム物語

肱川（ひじかわ）の概要



・肱川流域面積　1,210km²
・肱川流路延長　103km

※ある河川に対して、降った雨が流れ込んでくる範囲を「流域」と言い、その面積を「流域面積」と言います。「集水面積」という表現もあります。

肱川は、愛媛県の西南部に位置し、その源を愛媛県西予市の鳥坂峠（標高460m）に発し、途中、四国山地の1,000m を越す標高部を源流とする小田川、船戸川など数多くの支川を合わせながら大洲盆地を貫流して伊予灘に注ぐ、幹川流路延長103km、流域面積1,210km²の愛媛県最大の河川です。

中流部で"ひじ"のように大きく曲がっているのが特徴で、肱川の名前の由来の一つと言われています。

幹川流路延長103kmに対して、源流から河口までの直線距離はわずか18km しかない全国でも珍しい河川です。

肱川流域・近隣地域の特徴

肱川は、本川に合流する川（支川）が474本あり支川数は全国5位です。河床勾配がとても緩やかで、河口付近では両岸に山が迫り、川幅が狭くなっているため、洪水が河口まで流れにくく、住宅等の資産の集中する大洲盆地に水が溜りやすい地形になっています。

一方で、近隣流域の宇和島市、八幡浜市などの宇和海に面する南予地区海岸部は、リアス海岸という急峻な地形であり、大きな河川もなく慢性的な水不足に悩まされてきました。

河口部（大洲市長浜町）

市街化が進む東大洲地区

急峻なリアス海岸（西予市明浜町）

相次ぐ浸水・干ばつ被害

■肱川の水害

肱川は、以前から大雨が降るたびに氾濫し、流域の地形状況もあり、たびたび大きな浸水被害を受けてきました。なかでも昭和18年と20年には、大洲地点での最大流量が5,000m³/s にもおよぶ大洪水に見舞われました。そこで建設省（現：国土交通省）では昭和19年から洪水を防ぐために堤防や護岸をつくる工事を開始し、昭和34年には野村町の下流に鹿野川ダムが完成しましたが、なお治水安全度を向上させる必要がありました。

昭和18年　大洲地区浸水状況

■干ばつ被害

一方、慢性的な水不足に悩まされてきた南予地区海岸部では、昭和42年には90日間雨らしい雨がなく、かんがい用水はもとより、生活用水にも事欠く大干ばつに見舞われ、農作物の被害総額は250億円にものぼりました。

干害の被害を受けたみかん

昭和42年　干害の影響を受けた段々畑

野村ダムの誕生

■洪水調節と利水補給のため野村ダムは建設されました

幾度となく繰り返されてきた肱川の氾濫による浸水被害を防ぎ（洪水調節）、南予地区のみかん畑や家庭に水を送ること（利水補給）を目的として野村ダムは建設されました。昭和48年度に工事を開始し、総事業費286億円をかけて昭和57年3月に完成しました。実施計画調査から完成までわずか10年という短い期間で建設された特徴的なダムです。

放水管の設置工事

ダム建設工事（全景）

完成当時の野村ダム

ダム建設工事（ダムサイト）

野村ダムの概要

野村ダムは多目的ダムです

「ダム」には、水害を防ぐために洪水調節を行う 、流水の正常な機能の維持、農業・上水道・工業などのために水を貯めて使うことや、発電と、いろいろな役割(目的)があります。 1つのダムで複数の目的を持ったダムを「多目的ダム」と呼んでいます。

■洪水調節

ダム地点計画高水流量:1,300㎥/s
ダム計画最大放流量　:1,000㎥/s

■かんがい用水

宇和島市、八幡浜市、西予市、西宇和郡伊方町の5,673haに補給する計画。

■上水道

宇和島市、八幡浜市、西予市、西宇和郡伊方町の約11万5千人に給水する計画(計画給水人口)。

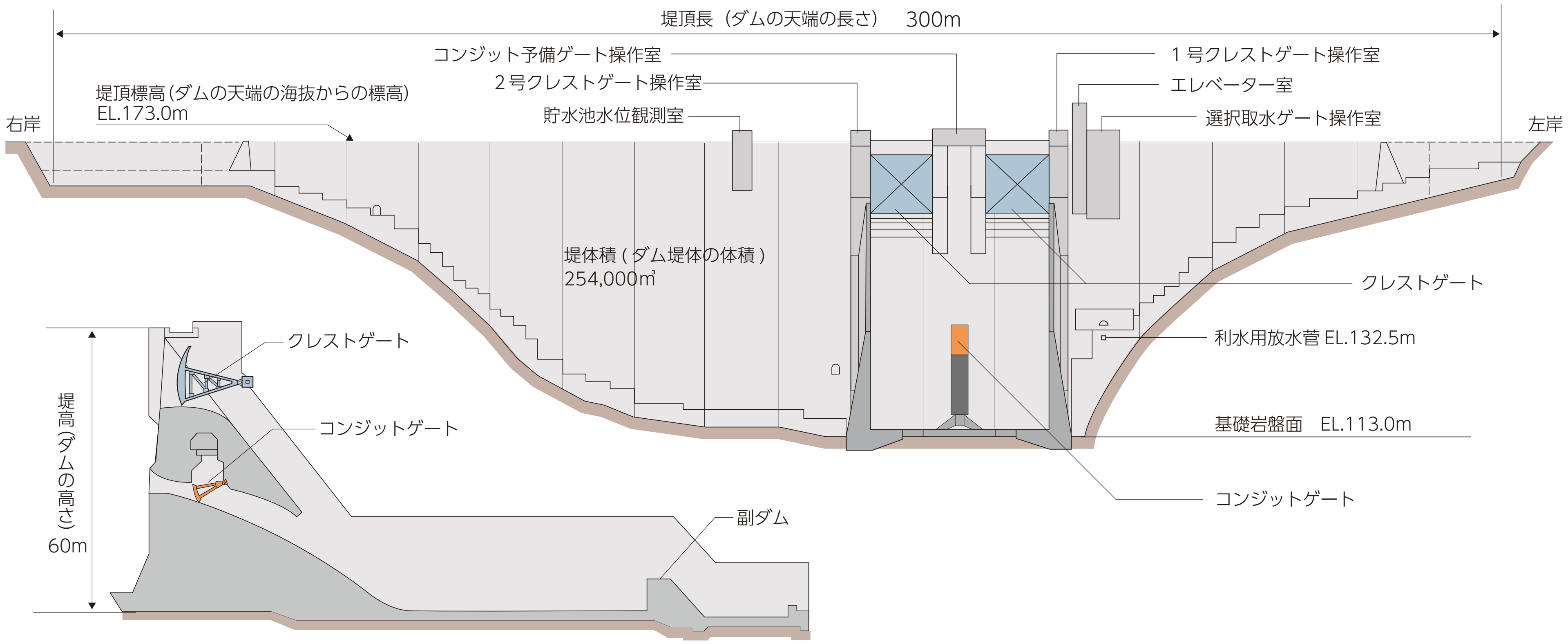
■ダム	
河川名	肱川
所在地	愛媛県西予市野村町野村
型式	重力式コンクリートダム
堤高	60m
堤頂長	300m
堤体積	254,000㎥
堤頂標高	EL.173.0m

■貯水池	
流域面積 ※1	168k㎡
湛水延長	6.7km
洪水時最高水位 (サーチャージ水位)	EL.170.2m
平常時最高貯水位 (常時満水位)	EL.169.4m
洪水貯留準備水位 (洪水期制限水位)	EL.166.2m
最低水位(堆砂面)	EL.148.0m
総貯水容量	16,000,000㎥
有効貯水容量	12,700,000㎥
治水容量 (洪水調節容量)	3,500,000㎥
利水容量 ※2	11,900,000㎥
堆砂容量	3,300,000㎥

■放水設備	
洪水吐設備	クレストゲート2門 コンジットゲート1門
利水放水設備	放流管1条

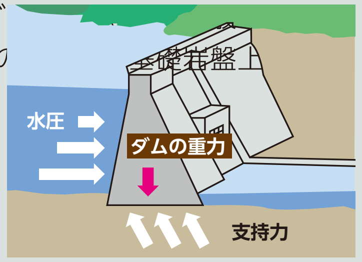
※1 野村ダムの流域面積168k㎡は、肱川流域の約14%になります。
※2 「利水容量」の詳細については、P6の「野村ダムの貯水池容量配分」参照。

野村ダムは重力式コンクリートダムです



「重力式コンクリートダム」とは…

コンクリートで作られたダムで、貯水池からの水圧をダム(コンクリート)の重量で支える形式のダムのことをいいます。コンクリートダ
で、ダムの重量を支えるの
することが原則です。



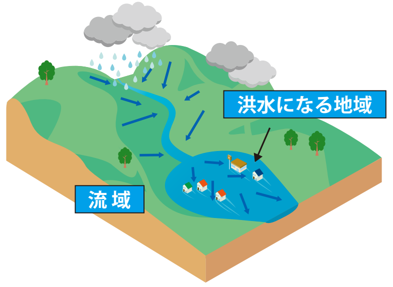
野村ダムの役割

治水

一般的な治水対策は、山間部にダムを建設し、洪水を一時的に貯留することで、下流に流れる水量を調節する方法（ダムによる洪水調節）と、河道掘削や築堤により川の断面積を拡大する方法（河川改修）とで、洪水を安全かつ速やかに海へ流すことです。

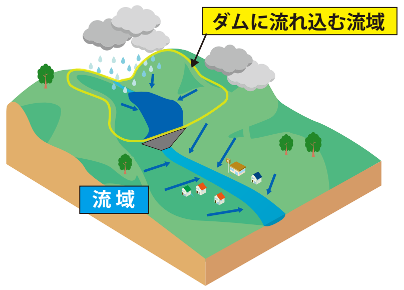
ダムによる洪水調節のイメージ

●ダムがない場合



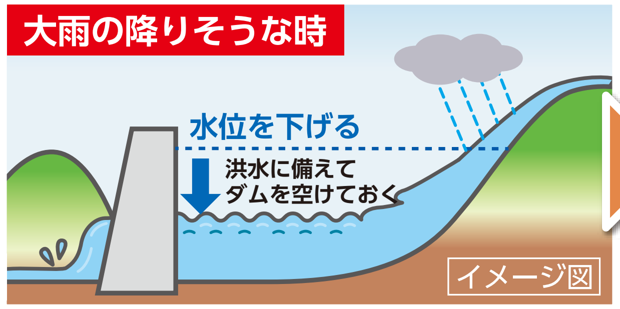
上流からの洪水がそのまま下流に流れます。そのため下流域で氾濫による被害が発生します。

●ダムがある場合

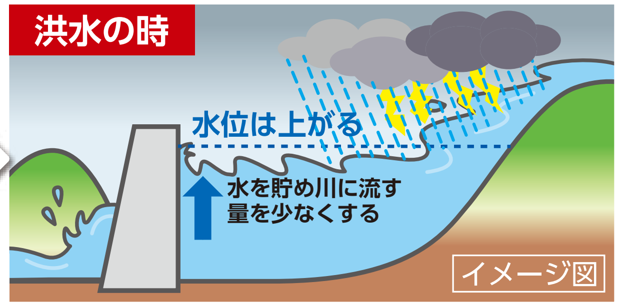


上流からの洪水の一部を貯め、下流に流れる水量を減らすことができるので、氾濫等による被害を軽減することができます。

ダムで洪水を調節するしくみ



洪水を貯水池に貯めるための準備として、ダムに流入する量をそのまま放流し、洪水調節に必要な容量を空けておきます。



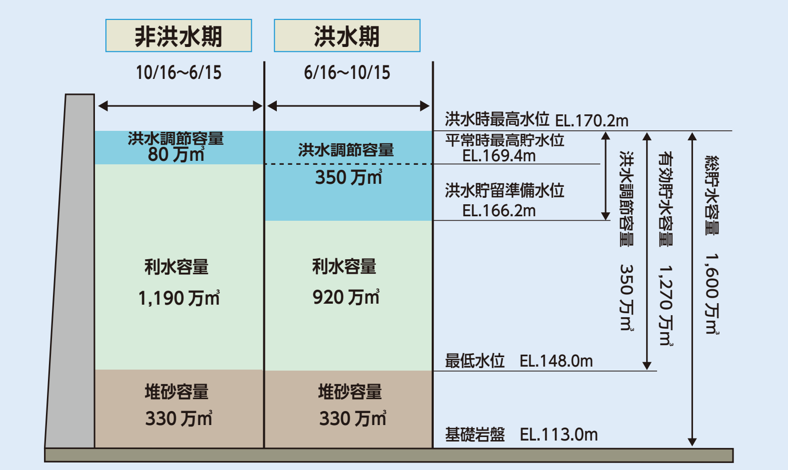
ダムに流入する洪水の一部を貯水池に貯め込み、下流に流す水の量を調節します。しかし、放流量は、洪水に備えている時よりは増えます。

野村ダムの貯水池容量配分　（貯水池に貯める水の使い方）

みかん畑や家庭で使用する水を確保するために、できるだけ多くの水を貯めておく必要がありますが、雨が多い梅雨期・台風期には、より多くの洪水を調節できるように、できるだけ貯水位を下げ洪水に備える必要があります。

このように相反するダムの機能を効率よく発揮するために、雨の少ない非洪水期には、平常時最高貯水位まで水を貯めておき、雨が多い洪水期には、洪水貯留準備水位まで貯水位を下げて洪水に備えます。

なお、水位の低下は6/16～7/14にかけて実施します。



注）堆砂容量　　　　：ダムに入ってくる土砂を貯める容量
　　洪水時最高水位　：洪水調節に使用する最高の水位
　　平常時最高貯水位：平常時にダムに貯められる最高の水位で利水容量の最高水位

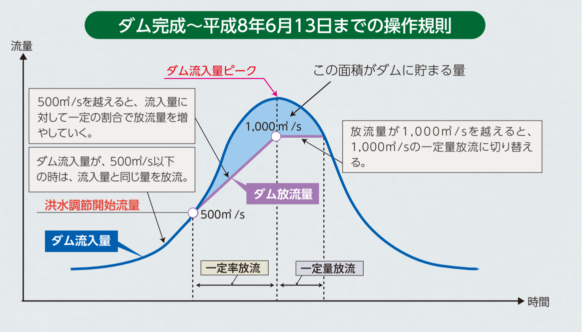
野村ダムによる洪水調節

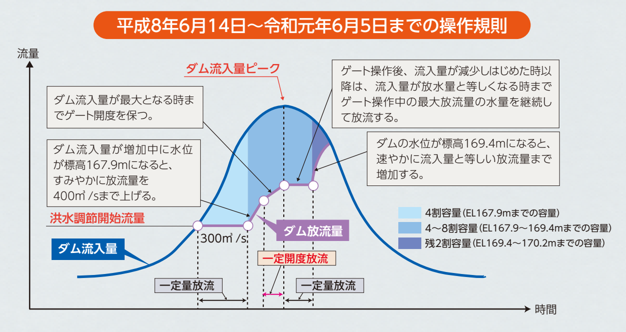
■平成8年 改定

平成7年7月洪水を機にダム操作規則を変更

平成7年7月洪水時の大洲市東大洲地区

- ●平成7年7月梅雨前線による洪水で大洲市東大洲地区を中心に大規模な被害が発生。
- ●これを機に、上流の野村ダム・鹿野川ダムの洪水調節能力を有効に活用して、当面の流域の洪水被害の軽減を図ることを目的に、操作規則を変更。（中小規模洪水）





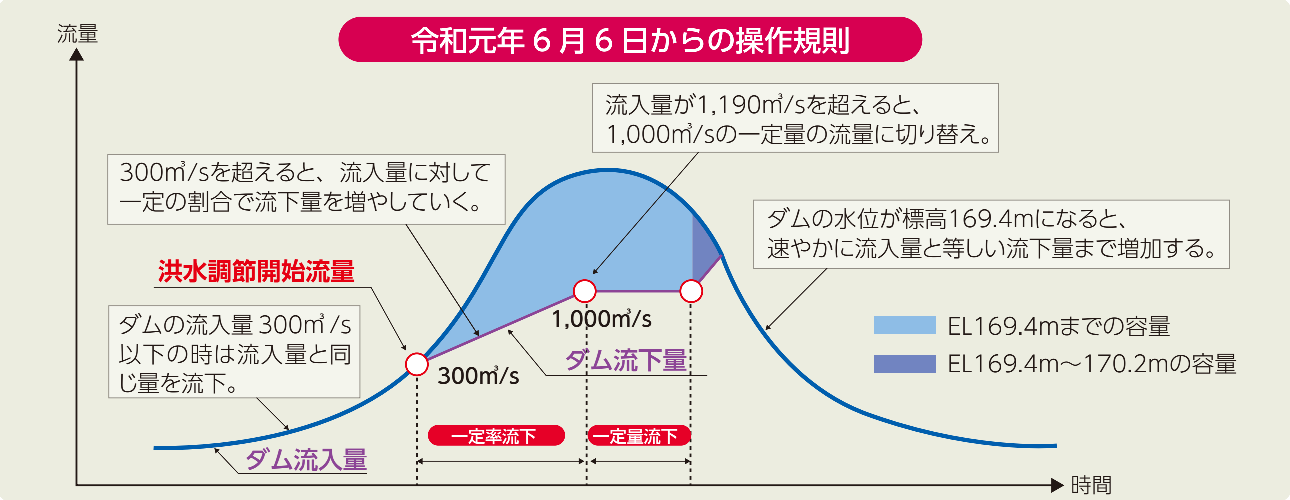
■令和元年 改定

令和元年６月鹿野川ダム改造事業による洪水調節容量の増加に伴い変更

- ●令和元年6月6日から野村ダムの**事前放流（利水者の協力）**による容量の確保及び**鹿野川ダム改造事業によって増加した洪水調節容量**を活用し、**東大洲地区等の暫定堤防70cm嵩上げ**を踏まえ、ダム操作規則を変更。

令和元年6月の操作規則変更の内容

- ●当初の操作規則は大規模洪水を対象としていましたが、平成7年7月洪水を機に基本となる洪水を発生回数の多い中小規模の洪水に変更。令和元年6月に鹿野川ダム改造事業で増加した洪水調節容量を活用し、中規模洪水で鹿野川ダムに効果を発揮させ、より**大規模な洪水で野村ダム**及び鹿野川ダムに効果を発揮させる操作に変更。
- ●洪水調節の方式を平成8年に変更した「一定量後一定開度方式」から当初の「**一定率一定量調節方式**」に変更。【詳細は下記を参照】
- ●堤防の整備が十分でない地区では浸水被害が発生しているため、**洪水調節開始流量は**、平成8年の500m³/sから**300m³/s**に変更した流量を**踏襲**。
- ●平成8年の非洪水期から洪水期への移行期（6/16～ 7/14）に平常時最高貯水位から洪水貯留準備水位まで貯水位を下げ洪水調節容量を大きくして備える操作に、令和元年に利水者の協力による**事前放流（250万m³）で治水容量を増強**。



野村ダムの役割

利水

野村ダムの水は、大きな川がなく慢性的な水不足に悩まされていた宇和島市や八幡浜市などの海岸部のかんがい用水や水道用水として利用されています。
この南予地区海岸部に送る水を「利水容量」として常時貯留し確保しています。補給水は、ダムサイト上流1.1kmに設置された南予用水取水塔から取水し、導水トンネルや幹線水路を通して送水しています。

※「南予用水事業」
・「かんがい用水」については、農林水産省が昭和49年10月に八幡浜市に「南予農業水利事業所」を設置し、「国営南予用水農業水利事業」に着手。
・「上水道」については、昭和48年2月に地元市町による「南予水道企業団」が発足。昭和48年3月に、厚生省補助による「南予水道用水供給事業」に着手。

南予用水を通じて、宇和島市、八幡浜市、西予市、西宇和郡伊方町のみかん畑等約5,673haに、最大3,502㎥/s、年間最大27,800千㎥を補給する計画。

南予水道企業団を通じて、宇和島市、八幡浜市、西予市、西宇和郡伊方町の3市1町（計画給水人口約11万5千人）に、日最大35,920㎥/日の水道用水を供給する計画。

かんがい用水の補給効果

収穫量・品目数ともに日本一である、愛媛県のみかん等のかんきつ類栽培。中でも温州みかんの生産量が県内全生産量の約6割を占めています。
野村ダムがかんがい用水を供給する、八幡浜市、宇和島市、西予市、伊方町の南予地方は、温暖な気候を有し、太陽の光、宇和海からの反射光、石垣からの反射の「三つの太陽」を浴び、高品質なかんきつ類の生産地となっています。そして、この3市1町での温州みかんの生産量は、全体の約4%を占めています。

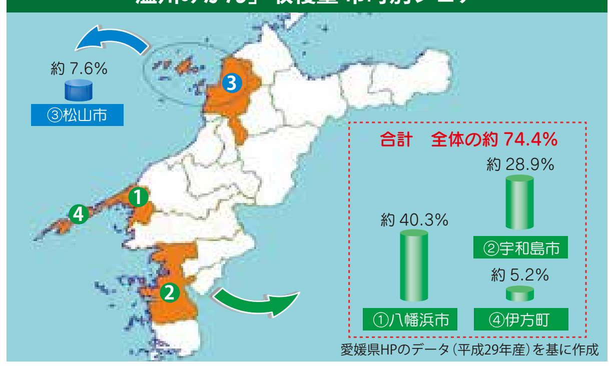
現在の段々畑

愛媛県におけるかんきつ類収穫量の割合

温州みかん	伊予柑	その他柑橘
58.2%	13.6%	28.2%

愛媛県HPのデータ（平成29年産）を基に作成

「温州みかん」収穫量 市町別シェア



愛媛県HPのデータ（平成29年産）を基に作成

リアス海岸急斜面の段々畑で作られた「真穴みかん」は天皇杯・農林大臣賞、「日の丸みかん」は日本農業賞を受賞しており、愛媛みかんの中でも全国屈指のブランドとなっています。このように、野村ダムから供給されるかんがい用水は、地域産業の発展に寄与しています。

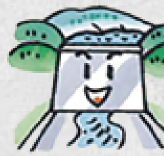
野村ダムの受益区域

南予用水取水塔で取水された水は、約6kmのトンネル（吉田導水路）により海岸地域に導かれたあと、南北に分かれた幹線水路（全長約90km）を通じて宇和島市や八幡浜市・西予市・伊方町方面へ送水され、家庭やみかん畑等で使用されています。

TOPICS

クリーンな水力による自家発電

ダムの水と落差を使ったクリーンな発電で、ダムで使う電気を作っています。



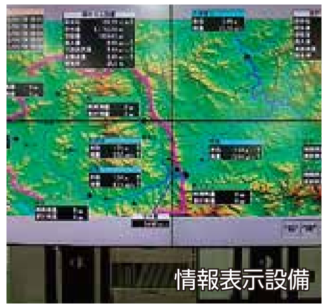
■野村ダム発電設備の諸元
最大使用水量：1.6㎥/s
最 大 出 力：665kW

野村ダムの設備

洪水調節や利水補給を円滑に行うため、管理庁舎や放流設備の他、様々な設備があります。

■管理庁舎

操作室では、ダムや貯水池の状況、ダム周辺の雨量や水位などの状況を監視しています。また、今後の雨量やダム流入量を予測してゲートを操作しています。

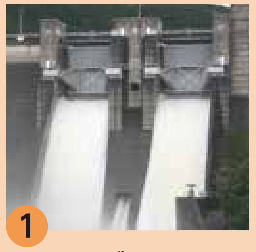

情報表示設備

操作室

管理庁舎

■放流設備

洪水時の放流設備



1 クレストゲート
洪水時に多量の水を流すことができるゲートで、主としてこのゲートで洪水調節を行います。野村ダムには2門あります。（最大放流能力2,250m³/s）

2 コンジットゲート
ダムの内部に設置しているゲートで、大きな洪水の初期段階や小さな洪水時に使用します。（最大放流能力250m³/s）

平常時の放流設備

3 選択取水設備
ダム下流へ冷たい水や濁水を放流することを防止するため、水深方向のきれいな水を選んで取水し放流ゲートへ送る設備です。

4 ジェットフローゲート
選択取水設備で取水した水を下流に放流するための設備です。（放流能力13m³/s）

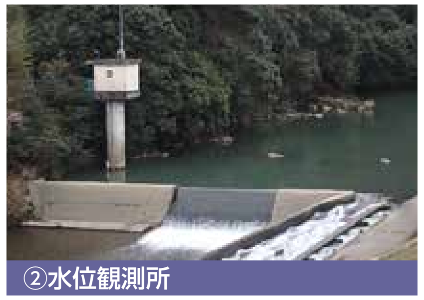
5 水力発電設備
ダム管理に必要な、電力をつくるための設備です。（最大使用水量1.6m³/s）

周辺設備

ダムの周辺にも、雨量・水位等の情報収集設備、貯水池の管理設備や放流時の警報を出すための設備があります。

③流木止設備
流れ込んできた流木等をせき止めゲート等の施設を守り、またダム下流域の災害を防止するための設備です。

①雨量観測所
ダム上流に降った雨を観測する設備で、ダム上流に5箇所あります。


②水位観測所
ダム上下流の川の水位を観測する設備で、ダム上下流に3箇所あります。

④係船設備及び巡視船等
ダム貯水池や周辺に異常がないか巡視するための設備です。

⑤ダム放流警報所
下流域の人たちにサイレンやスピーカーでダムが放流を始めることを知らせるための設備です。電光表示板を一緒に設置しているところもあります。ダム下流に11箇所あります。

⑥ダム放流警報板
ダムが放流したときの注意事項やダム放流開始を知らせる方法を示した立看板です。肱川沿いに28箇所設置しています。

⑦ダム放流電光表示板
ダムから放流をしているときに「ダム放流中」の文字を電光表示して皆さんに注意を呼びかけるための設備です。

環境への取組み

ダム周辺の環境整備

ダム建設事業の一環として、一般の方々に親しんで頂けるよう貯水池周辺の環境整備を行いました。良好なダム環境を保持するために貯水池周辺の法面整備を行うとともに、公園等の基盤整備を行い、一般の方々の有効利用の推進を図りました。

現在では、野村ダムを中心に周辺に様々な施設が整備され、また各種イベント会場としても利用され、多くの方々に親しまれています。

(周辺の観光施設・イベントについては、P16「イベント＆観光案内」参照)

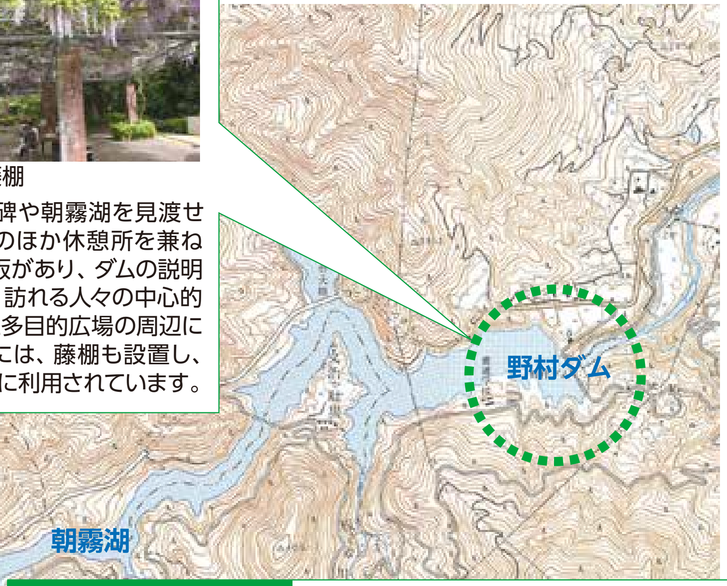
ダム公園

左岸公園　東屋

右岸公園　藤棚

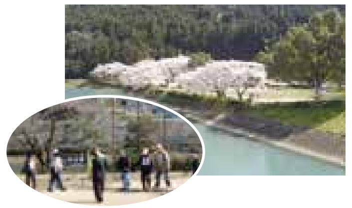
公園入口

左岸公園にはダム記念碑や朝霧湖を見渡せる展望台があります。そのほか休憩所を兼ねた東屋の中には総合案内板があり、ダムの説明を音声で聞くことができ、訪れる人々の中心的広場となっています。また多目的広場の周辺には桜を植栽し、右岸公園には、藤棚も設置し、四季を通じてたくさんの人に利用されています。



明間公園

左岸の県道沿いの広場には、藤棚を作り花木公園とし、右岸側にはショウブ園や運動広場を作り、梅や桜を植えて、地域の皆様の憩いの場として利用されています。



潜在自然植生による法面緑化

ダム建設によって発生した法面の修復に、外来種の代わりに流域に自然に植生している自生力の強い樹木で対応し、地域に適合した自然の回復を図りました。

ダムサイト法面の修復では、潜在自然植生であるシイ、カシ、タブといった種の植栽が行われ、現在ではツブラジイが優占する照葉樹林が形成されています。

施工前

約 30 年

施工後

水質改善の取組み

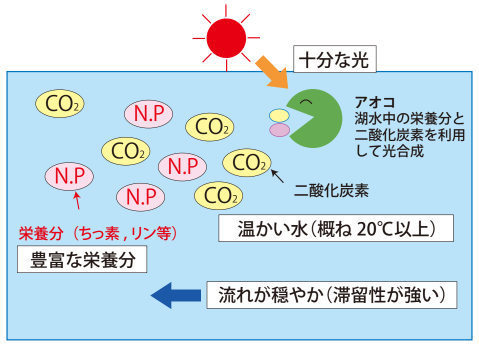
平成 10年頃からアオコの発生が顕著になり、 平成 15年 9月には発生したアオコが腐敗して、 景観悪化と悪臭を発生させ、 悪影響を与えました。そこで、 平成 17年度から「曝気循環施設」の設置を開始し、 平成21年度までに5基を設置して、 水質の改善に取り組んでいます。

ダム湖上流部で腐敗したアオコ

アオコとは、浮遊性の植物プランクトン(らん藻類) が異常増殖し、水面がみどり色に着色する現象です。発生すると、景観を悪化させるとともに、臭いが発生し、ダム湖や周辺の利用、水道用水の取水などに悪影響を与えます。

■アオコの発生原因

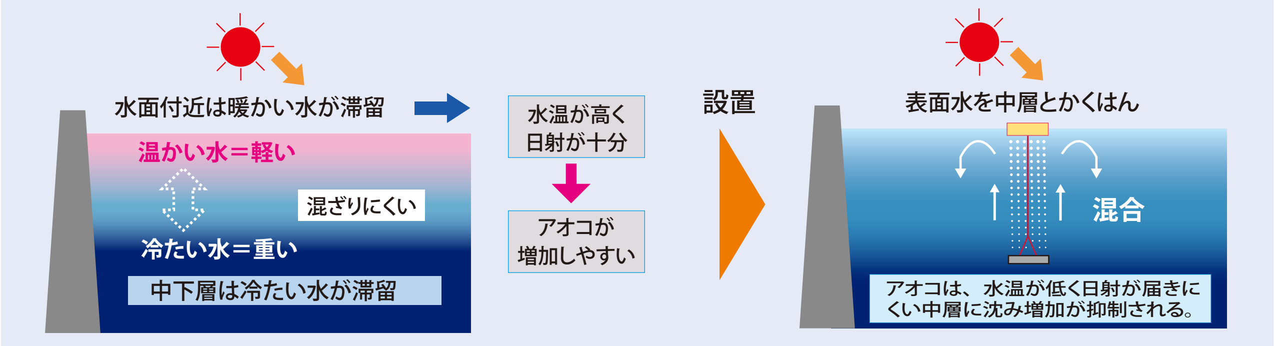
植物の一種であるアオコは、 湖水に溶けている栄養分を利用し、光合成をして増殖します。そのため、湖水中に栄養分が豊富にあり、アオコが活動しやすい水温 (約 20℃以上)で、 光が十分にある状態が長期に継続するとアオコが増殖します。 野村ダムは、 湖水中の栄養分が多いため、 夏季になり水温が上昇し、 上流からの流入量が少なくなるとアオコが発生しやすくなります。



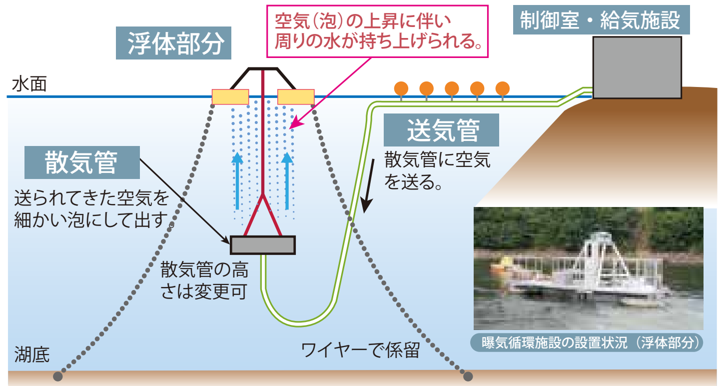
ダム湖におけるアオコ増殖イメージ

■曝気循環施設によるアオコ抑制のメカニズム

ダム湖の中層より下に滞留している冷たい水を空気の力により持ち上げて表層付近の水とかき混ぜ、アオコを光の届きにくい中層付近まで押し込めるとともに、表層付近の水温を低下させることで、アオコが増殖しにくい環境を形成します。



■野村ダムの曝気循環施設と効果



曝気循環装置の稼動によって、アオコの全面的な発生は抑制され、近年は、端部のみの部分的な発生となっており、水質は改善されています。

曝気運転前

貯水池全面に拡散

曝気運転後

局所的に薄い膜状で発生

野村ダム管理所の仕事

平常時

ダムや貯水池に異常がないか点検等の作業を行っています。また、多くの方々にダムのことを知って、親しんでもらうための活動を行っています。

■ダムを守る作業

機器の点検
情報表示板や操作卓、情報収集・警報装置等の機器を定期的に点検しています。

揚圧力測定
ダムを押し上げる力である揚圧力を、定期的に測定しています。

堤体の点検
ダム堤体にひずみが生じていないか、プラムラインという機器で測定しています。

放流設備の点検・補修
放流施設が正しく作動するように点検・補修をしています。

■貯水池を守る作業

水質の観測
貯水池の水質に異常がないか観測しています。

貯水池の巡視
貯水池の状況、流木止設備等に異常がないか巡視しています。

除草・清掃
貯水池周辺の草を刈ったり清掃作業を行っています。

流木の除去
貯水池に流れ込んできた流木等を取り除いています。

■ダムに親しんでもらうための活動

見学者の案内
ダムについて多くの方々に知ってもらうため、見学者の皆様の案内を行っています。

周辺環境の維持・管理
ダムに親しんでもらうために周辺の公園や広場等を維持・管理しています。

ふれあい憩いの場の提供
地域の皆様のレクレーションの場として周辺施設が利用されています。

イベント会場として提供
ダムを活かした地域振興をめざし、各種イベントの会場として利用されています。

洪水時

多くの雨が降った時には、急激な水位の上昇が起こらないようにしたり、肱川の氾濫による被害拡大を防ぐため適切にダムを操作(洪水調節)します。また、放流に際してはサイレンやスピーカーを使い注意喚起を行います。

大雨に関する警報発令

気象や河川データの収集
雨量観測所や水位観測所、雨量レーダー等から情報を収集します。

流入量の予測と放流の判断
収集した雨量や水位のデータから今後のダム流入量を予測し、ダムからの放流が必要か判断します。

放流に向けての準備

関係機関への連絡
関係機関に対しこれからダムが放流を始めることを連絡します。同時に放流に先駆けゲートの点検を行います。

警報・下流巡視
川に人が近づかないように、サイレンを鳴らしたり、スピーカーで放流開始をお知らせします。川の巡視も行います。

放流開始

ダム操作
流入量や貯水位を監視しながら、放流量を調節します。

関係機関等への連絡
放流の状況を必要に応じて連絡します。

放流終了

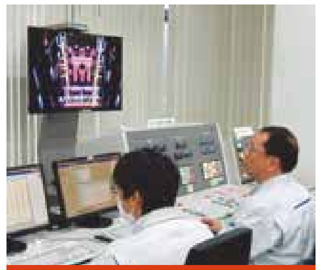
関係機関等への連絡
洪水の危険がなくなり、ダムからの放流(洪水調節)が終了したことを連絡します。

レーダーの監視

流入量の予測

関係機関への連絡

下流の巡視と警報


ゲートの操作

放流開始

クレストゲートからの放流

イベント＆観光案内

野村ダムとその周辺で開催されるイベントや観光スポッ トをご紹介します。

■野村ダムこいのぼり架け渡し
（4 月下旬から 5 月上旬）

各家庭で役割を終えたこいのぼりを集めて、子供たちの成長を祈願して450mのダム湖をまたいで架け渡しを行うイベントです。ツツジなどの季節の花が咲き乱れる中を、野村ダムの湖畔で約150匹のこいのぼりが優雅に泳ぐ姿を見ることができます。

■四国せいよ朝霧湖マラソン
（5 月 3 日）

「乙亥の里」をスタート&ゴールとして、約150匹のこいのぼりが泳ぐ朝霧湖畔や周辺の里山を駆け巡るコースと、スタートから最高地点までの高低差が109mある10kmコースで行われるマラソン大会で、「住民手づくりのおもてなし大会」として、全国のランナーに好評を博しています。

■野村納涼花火　大会
（8 月 14 日）

毎年、お盆の時期に、野村ダム近くの肱川沿川で行われる花火大会で、約5,000発の花火が打ち上げられます。次々に上がる打ち上げ花火を、野村ダムの堤体上からも見ることができ、毎年市内外からたくさんの見学客が訪れます。

■乙亥大相撲
（11 月下旬）

「乙亥の里 乙亥会館」で行われる、百数十年の歴史と伝統を誇り、全国でも唯一プロの力士とアマチュアの選手の対決が見られる相撲の祭りです。好評の有名幕内力士による、稚児の成長を願う「稚児の土俵入」や、抽選会、ちゃんこ祭りなど催し物も行われ、期間中まち全体が相撲一色となり賑わいます。

■イルミネーション
（1 月中旬から 3 月中旬）

1月中旬から3月中旬までの期間、約3万個の電球や発光ダイオードの光が、乙亥の里を灯します。企画から設置まで、すべて地域の人たちが手がけられ、2月にはバレンタインイベントも開催されます。子どもから大人まで楽しめるイルミネーションです。

観光案内

1 観音水

観音水は、宇和町明間にある名水百選に選ばれた鍾乳洞からの湧水です。水量は日量約8000トンで、水質は弱アルカリ性。夏でも冷たい水です。休日には名水を汲みに長蛇の列ができることもあります。夏には、「名水亭」で観音水流しそうめんが営業されます。

2 明間公園

肱川沿いにソメイヨシノ約450本が並ぶ桜の名所です。春には、肱川がピンクに染まるほどの桜が咲き乱れ、市内外から多くの花見客が訪れます。また5、6月頃には公園前の肱川において、バス釣り大会が開催され、全国各地からバス釣りを楽しむ人々も訪れ賑わいます。

3 游の里温泉ユートピア宇和

朝霧湖の湖畔にある温泉施設で、キャンプ場も併設されています。温泉は、地下600mから湧き出る良質の冷泉で、大浴場、サウナが完備されており、神経痛などに効果があるとされています。浴室から眺める雄大な景色は疲れた身体を癒してくれます。

4 西予市農村農業公園ほわいとファーム

四国でも有数の酪農地帯である西予市野村町。ヨーロッパの農場をイメージして作られた施設内には、乳製品を生産しているのむらミルク工房や千年の森工房等があり、芝生公園ではヤギなどと、ふれあうこともできます。

5 シルク博物館

「カメリアシルク」の商標で登録され、英国のエリザベス2世の戴冠式で女王のドレスの一部にも使用された西予市野村町の生糸。真上から見ると繭の形状をしたユニークな建物であるシルク博物館には、野村町の蚕糸業に関わる貴重な資料が展示されています。

6 乙亥の里 乙亥会館

相撲が盛んなまちらしく両国国技館をモデルにした方形型の建物です。多目的ホールは吹き抜けで、収納式の土俵と客席があり、フロアは一般の体育館と同じような利用が可能です。また、相撲資料館には乙亥大相撲の歴代力士写真等の資料が展示されています。

7 桂川渓谷

乙御前姫の伝説が残る桂川渓谷は、深渕、滝、奇岩が連なっており、神秘的な趣きがあります。渓谷入口には、40種類以上の蝶が舞う「蝶の楽園」があり、ここから渓谷へ遊歩道が整備されています。また、キャンプ場もあり、雄大な大自然を堪能できます。

8 野村ダムロッジ

大自然を満喫してもらうため、西予市が無料で開放している本格的な丸太づくりの野村ダムロッジ。全室6畳でコンセントが確保されているので安心です。近場には、桂川渓谷、ほわいとファーム、ユートピア宇和もあります。まるで隠れ家的存在のロッジです。